

前橋労働基準監督署

クールワークキャンペーン重点取組期間延長!!

安全衛生情報 平成30年8月号

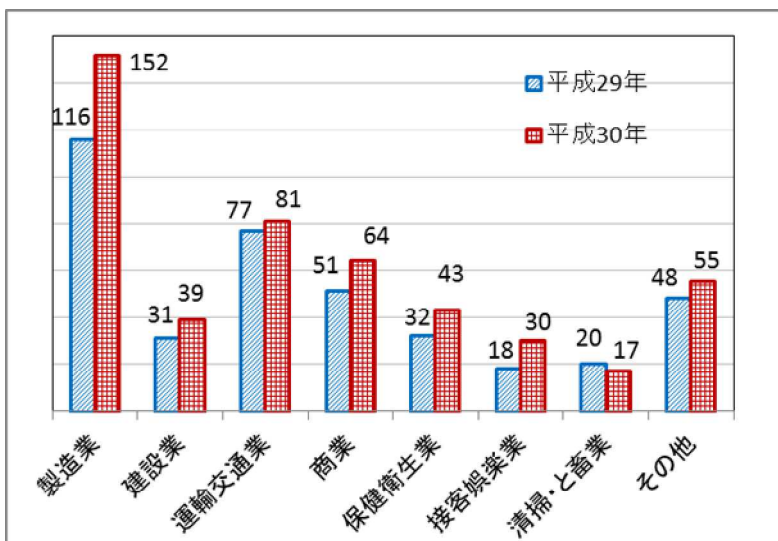
前橋労働基準監督署 前橋市大手町 2-3-1 前橋地方合同庁舎 7階 Tel 027-896-3019 Fax 027-896-3055

**SAFETY
FIRST**

こころとからだの健康づくり みんなで進める働き方改革

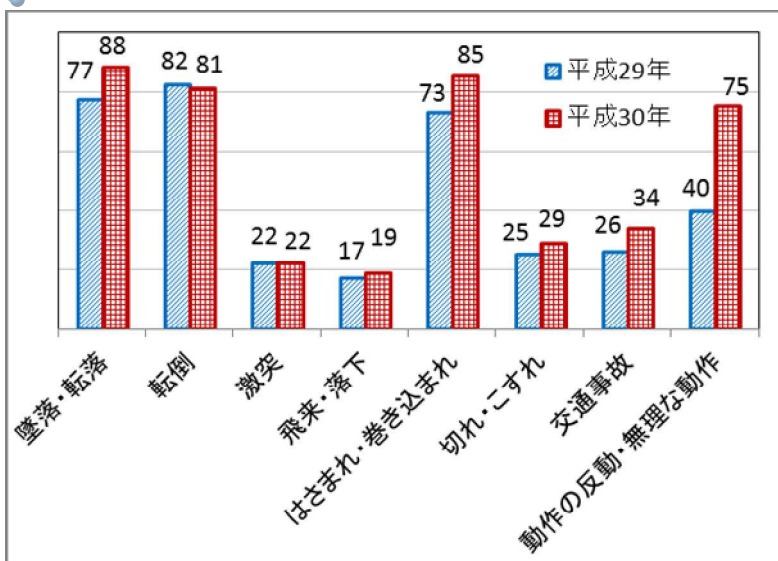
平成30年度「全国労働衛生週間」スローガン

平成30年7月末現在 前橋署管内 労働災害発生状況



注...休業4日以上の災害(通勤災害分を除く)で、平成30年7月31日までに当署に提出された労働者死傷病報告を集計(累計)

災害の型別発生状況



全産業合計で 481 件
 昨年同期に比べ 88 件増(約 22.4%増)
 製造業は 152 件
 (36 件増 約 31.0%増)
 建設業は 39 件
 (8 件増 約 25.8%増)
 運輸交通業は 81 件
 (4 件増 約 5.2%増)
 商業は 64 件
 (13 件増 約 25.5%増)
 保健衛生業は 43 件
 (11 件増 約 34.4%増)
 接客娯楽業は 30 件
 (12 件増 約 66.7%増)
 清掃・と畜業は 17 件
 (3 件減 約 15.0%減)
 死亡災害は 1 件 (1 件減)
 群馬県全体では 1,218 件発生
 昨年同期に比べ 166 件増(約 15.8%増)
 死亡災害は、10 件 (4 件増)

~過労死等の防止のための対策に関する大綱の変更について~

過労死等がなく、仕事と生活を調和させ、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現に寄与することを目的として、「過労死等の防止のための対策に関する大綱」を変更しました。

>>> 詳細は、厚生労働省HPへ

S T O P ! 転倒災害



平成30年死亡災害事例（前橋署管内）

発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
3月 17時頃 68人	50歳代 男 運転手	高速道路上において、大型トラックが、渋滞により減速した大型観光バスに追突し、トラック運転手が死亡した。	道路貨物 運送業	交通事故 (道路)	トラック

～労働災害防止の緊急要請～

平成30年の前橋労働基準監督署管内の労働災害は、7月末現在481件と、昨年同時期と比較し88件(約22.4%)の増加となっています。事故の型では、墜落・転落災害88件、はさまれ・巻き込まれ災害85件、転倒災害81件、動作の反動・無理な動作75件が多く発生しています。

各種機械のカバー等の物理的対策の点検

清掃、調整作業時の安全作業手順の点検

安全な通路の点検

腰痛防止対策の点検

高所及び高所に準じた作業の墜落防止対策の点検

関係労働者に対する、災害防止教育の実施等

を積極的に実施し、労働災害防止対策の徹底を、より一層強化していただきますようお願いします。

指差し呼称で
安全確認



建設現場における火災による労働災害防止について

7月に東京都内のビル建設工事現場において火災が発生し、現場で作業に従事していた5名が死亡し、約40名が負傷したところです。災害発生原因等はまだ特定されていませんが、報道等を踏まえると現場内の鋼材の溶断作業中に火花が断熱材に引火したことが原因と推定されるところです。

類似の労働災害の発生を防止するため、以下について、対策の徹底を図られるようお願いいたします。

調査、確認

元方事業者は、新築工事にあつては、**可燃性の断熱材（以下「断熱材」）の施工計画の有無**、既存建築物の改修工事等にあつては、**断熱材の使用の有無に係る確認**を行い、当該作業がある場合には断熱材の種類、特性について調査をすること。

施工計画、作業手順の作成等

元方事業者は、**断熱材のある場所で火気を使用しない**工事計画を策定すること。既存建築物の改修工事等でやむを得ず断熱材の施工されている場所で火気を使用する作業を行う場合は、**火気管理を含む作業計画を策定**すること。作業事業者は作業手順書の作成及び元方事業者との調整を行うこと。

表示

断熱材の使用場所であること及び**火気厳禁の表示**を行うこと。断熱材の保管場所（仮置き場所を含む）についても同様であること。

防火対策

火気作業を行う事業者は、**断熱材に対する不燃性シート等による遮蔽の実施**、**消火のための器具の配置**等を行うこと。

整理整頓

作業場所の整理整頓を行い、**原材料等を放置しない**こと。

緊急時の措置

元方事業者は、火災発生等の**緊急時の連絡方法**、**避難方法等**についてあらかじめ定め関係事業者に周知するとともに、**訓練を実施**するなど、緊急時に備え万全の対策を講ずること。